

地球科学輻合ゼミナール

(2012年度 前期 第9回)のご案内

複雑地表面形状のモデル化と 都市の風環境研究への応用

竹見 哲也

京都大学・防災研究所 気象・水象災害研究部門

私たちの身近な生活空間の風は、気象状況に応じて変動するのみならず、建物や植生の存在によっても複雑に変動する。建物や植生は、通常気象の問題を考える際にはちょっとした凹凸としか見なされていないが、身近な生活空間の風環境や大気環境の諸問題を考える上では無視できない存在である。ここでは、都市を例にとり、建物といった地面の凹凸をどのように数理モデル化するかについての手法を説明し、実際の都市における風や乱れの数値シミュレーションによる解析結果を紹介する。また、本手法による複雑地表面上の大気環境の諸問題への応用について議論する。

6月20日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室